令和７年度（令和６年度決算）

みやき町教育委員会
事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

令和７年度（令和６年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事　業　名	ページ数
○　学校施設改修事業	１
○　理科教育設備整備事業	２
○　外国語指導助手配置業務事業	３
○　夢の教室事業	４
○　義務教育施設整備事業	５
○　スクリーニングシステム事業	６
○　教育委員会活動事業	７
○　特別支援教育支援員配置事業	８
○　スクール・サポート・スタッフ事業	９
○　スクールカウンセラー事業	１０
○　スクールソーシャルワーカー事業	１１
○　学力向上支援体制確立対策事業	１２
○　ＩＣＴ支援体制確立対策事業	１３
○　要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	１４
○　特別支援教育就学奨励費交付事業	１５
○　育英資金貸付基金事業	１６
○　医療的ケア実施業務委託事業	１７
○　学校給食費補助事業	１８
○　学校給食センター事業	１９

【社会教育課】

事　業　名	ページ数
○　青少年健全育成事業	２０
○　まちづくりいきいき女性クラブ事業	２１
○　放課後子ども教室事業	２２
○　生涯学習事業	２３
○　図書館事業	２４
○　文化財保護事業	２５
○　社会教育施設整備事業	２６
○　令和６年度SAGA2024国民スポーツ大会事業	２７
○　各種スポーツ大会等開催事業	２８
○　社会体育施設整備事業	２９

事業名	学校施設改修事業	所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
		費目	小学校費・中学校費		

事業費（千円）	88,921	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			6,279				82,642

基本方針		
	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進
	主要施策	学校施設・設備の充実

事業の内容等

学校施設の老朽化等に対し改修を行う。

事業の実績等

【中原小学校】
[1]普通教室空調設備設置及び電力設備改修工事　6,906,900 円
[2]職員室拡張工事　1,166,000 円
[3]高圧気中開閉器・継電器取替工事　715,000 円
[4]間仕切りｶｰﾃﾝ取付・移設工事　693,000 円
【北茂安小学校】
[5]プール排水バルブ交換工事（屋外プールプール仕切弁改修）　1,000,000 円
[6]給食リフト部品取替工事　1,751,200 円
[7]空調設備設置工事（調理室・1 階教室）前　6,771,600 円
[8]受電設備高圧引込ケーブル取替工事　3,300,000 円
[9]校舎北側ブロック補修工事　242,000 円
[10]ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾏｰ取替工事　770,000 円
[11]遊具改修工事　151,800 円
【三根東小学校】
[12]受水槽・配管・揚水管・ポンプ工事　17,713,300 円
[13]家庭科室空調工事　3,232,900 円
[14]西側　橋撤去工事　950,000 円
[15]体育館椅子台車扉改修工事　770,000 円
【三根西小学校】
[16]空調設備設置及び電力設備改修工事（生活科室・学習室）　5,889,400 円
[17]体育館床改修工事　2,629,000 円
[18]プール前外トイレ目隠し工事　631,400 円
[19]体育館排煙オペレーター修繕工事　638,000 円
[20]体育館バスケットコートライン引き工事　344,300 円
[21]総合学習室ホワイトボード取替工事　178,200 円
小学校計　56,444,000 円
【中原中学校】
[22]駐輪場屋根改修工事　3,003,000 円
[23]空調設備設置及び電力設備改修工事（被服室）　8,310,500 円
[24]体育館北側車両出入口整備工事　297,000 円
【北茂安中学校】
[25]プール循環ダクト補修工事　545,600 円
[26]グラウンド南側排水側溝工事　275,000 円
[27]給食室内線設置工事　275,000 円
[28]高圧引込電柱配管工事　627,000 円
[29]防火シャッター取替工事　3,740,000 円
[30]多目的室（１棟３階教室）空調・内線工事　4,153,600 円
[31]高圧受電設備接地改修工事　306,130 円
[32]自動火災報知設備受信機基板修繕工事　847,000 円
[33]体育館防球ネット改造工事　237,600 円
【三根中学校】
【34】被服室空調設置工事　2,948,000 円
【35】窓用オペレーター修理工事　670,000 円
【36】職員室空調機部品交換工事　346,500 円
【37】礼法室改修工事　5,896,000 円
中学校計　32,477,930 円

事業の成果等

自己評価：達成 / おおむね達成 / やや不十分 / 不十分

各小・中学校施設については、児童生徒の安全と教育環境の充実を図ることを目的に、施設の状況に応じて改修工事や設備の更新を行っている。
大規模改修等については予算も含め計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて随時対応している。また、空調の整備については文科省の公立学校施設整備交付金を活用している。

評価委員

評価結果	意見・指摘事項
達成 / おおむね達成 / やや不十分 / 不十分	特になし

次年度以降の取組み

指摘事項を受けての改善点等

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">理科教育設備整備事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">小学校費・中学校費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">452</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>226</td><td></td><td></td><td>226</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">実験を通して、理科に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に着けさせる。観察を通して、理科への正しい知識を身につける。</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">理科の学習に関する教材の整備を行う。</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">学習指導要領において、小中学校の理科教育には、ますます、観察・実験が重視されている。観察・実験重視の視点から、理科教育環境整備に対する対応が重要である。そこで、設備器具（観察・実験器具）を整備する。補助金対象は、1 つの器具に対し、小学校 1 万円以上、中学校 2 万円以上の場合で、購入額の 2 分の 1 の補助がある。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">事業実施校
三根東小学校：薬品庫等　323,930 円
三根西小学校：気体採取器セット　43,700 円
北茂安中学校：マクロピペット　85,140 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">・実験器具や観察機器が充実することで、体験的な学習が可能になり、理科の授業がより「おもしろく・わかりやすく」なる。
・授業では、電子黒板で実験の様子を見ることができるが、実際に実験して自分の目で観察することによって、理解がしやすく知識の定着がしやすく学力の向上につながっている。
・実験や観察が行いやすい環境が整うことで、教員が多様な授業方法を展開できる。

今後も、補助金を活用して町内小中学校で計画的に整備していく。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">外国語指導助手配置業務事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">30,492</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>30,492</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、中学校における外国語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語授業での指導を行い、子ども達の外国語によるコミュニケーション能力の育成を行うとともに、国際理解を図る。（令和４年度からの３年契約の３年目。）</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">令和２年度から小学校で外国語が必修化され、３・４年生は「外国語活動」年間３５時間、５・６年生は教科としての「外国語」を７０時間実施した。そのため、ALT を６人配置した。
中原小　　：１名
北茂安小　　：１名
三根東・西小：１名（兼任）
中原中　　：１名
北茂安中　　：１名
三根中　　：１名
ALT 主催の「イングリッシュデイ」をこすもす館で実施し、参加者と遊びを通して英会話を楽しんだ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">各学校へ配置された ALT が、児童生徒と積極的に接し、英会話を楽しむことで、英語に身近に触れる環境や、コミュニケーション能力の向上につながっている。
また、教職員と連携を取り、児童生徒の理解促進が図られ、教材作成等の業務も行うため、結果的に教職員の負担軽減につながっている。
英会話や異文化に親しむことを目的とした ALT 主催の「イングリッシュデイ」を夏と冬の 2 回開催した。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">夢の教室事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">1,339</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,339</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">様々な競技の現役選手/OB/OG などを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを子どもたちへ伝える。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【実施校（クラス数）及び対象学年】
中原小学校（２）・北茂安小学校（３）・三根東小学校（１）・三根西小学校（１）
６年生全員を対象（７クラス）
【派遣講師】日本公益財団法人　日本サッカー協会
夢先生：元ボブスレー選手　桧野　真奈美氏、元サッカー選手　佐藤　悠介氏、
元バレーボール選手　諸隈　直樹氏、元マラソン選手　菊地　里江氏
【内容】
〇前半３０分「ゲームの時間」
・体育館で、チームワークゲームを行う。子どもたちと一緒に体を動かすゲームを行い、チームが１つの目標に向かって協力していくことの難しさや面白さを学ぶ機会となった。
〇後半５０分「トークの時間」
・夢先生の夢トーク：夢先生が「夢曲線」という自身の実体験を黒板に描きながら、困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力することの大切さを伝えた。
・夢シートの記入後、子どもたちの夢発表</td></tr>
<tr><td>事業の
成果等</td><td>自己評価

達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">「夢の教室」を通して、夢に向かう過程や挫折したときの経験など、様々な競技のトップアスリートの実体験を直接聞くことで、夢や目標について考えさせる場面として、非常に良い機会になっている。
実施後のアンケートでは、「夢先生の話を聞いて、自分も努力を続けていきたい」と答える児童が多かった。夢がまだ見つかっていない児童でも、夢について前向きに考える姿が増えた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">義務教育施設整備事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">116,908</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>3,610</td><td>3,630</td><td></td><td></td><td>109,668</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">いきいき楽しい学校教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">学校施設・設備の充実</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">町内小・中学校の施設整備により児童生徒の安全・学習環境の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○委託料
・小中学校 ICT 機器・情報通信機器の保守業務　6,611 千円
・GIGA スクール運営支援センター設置（うち補助 970 千円）　6,996 千円
・ICT 機器設定委託料（校務端末、学習者用端末、指導者用端末、電子黒板用端末、電子黒板）　23,787 千円
・校務支援システム導入・構築委託料(うち補助 2,640 千円)　3,960 千円
・学校施設寿命化計画見直し支援、耐力度調査等委託　14,038 千円
・学校空調設計業務委託（7 校 39 教室）　9,196 千円
小計　64,587 千円
○使用料及び賃借料
・情報通信機器サーバーの長期借り上げ（R3.2.1～R8.1.31）　32,748 千円
・ソフトウェア利用料（校務支援ｼｽﾃﾑ、i-Filter 等）　4,705 千円
・ICT 機器借上げ（R6.9.1～R11.8.31）　13,899 千円
（校務端末、指導者用端末、電子黒板用端末、電子黒板）
・学校カラー複合機借上げ（R7.3.1～R12.2.28）[7 校 16 台]　642 千円
小計　51,993 千円
○備品購入費
・学習者用タブレット（99 台）/充電保管庫等　7,928 千円
うち補助金　3,630 千円
・防犯カメラ(三根中)／スポットクーラー（2 台）購入　581 千円
小計　8,509 千円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">第 1 期 GIGA スクール構想に基づき整備した ICT 機器の更新を進めるとともに、児童生徒数や学級数の増加に対応するため、ICT 機器の追加購入を行っています。また、現在空き教室となっている教室への空調機設置を計画的に進めるため、設計業務を実施し、令和 7 年度以降に設置を進める予定です。
また、校務支援システムの導入により、教職員の校務負担軽減が期待されます。加えて、学校施設の長寿命化計画の見直しや耐力度調査を通じて、改築等を含めた学校の今後の在り方について議論を進めています。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">スクリーニングシステム事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">707</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>707</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">児童生徒の諸問題の解決にあたり、一人の子どもも取りこぼさない</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">個々の児童生徒の課題を早期発見するとともに、教職員間でその情報を共有する仕組みの構築。</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">スクリーニングとは、全員の子どもたちを確認していくことで、リスクの可能性のある子どもを洗い出し適切な対応を簡単に行えるようにする。
各学校で、各学期（年３回）システムに入力し、チーム会議を実施し、生活困窮、不登校、児童虐待、家族介護など支援を要する児童生徒の状況把握及び支援の方向性を検討することで子どもたちの最善の利益の実現を目指す。また、新規不登校の未然防止につながる。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">令和４年度に中原小学校と中原中学校をモデル校として導入したクラウド版「AI を活用したスクリーニングシステム」を、令和５年度は全校に導入した。児童生徒の実態把握のため、システムに客観的にデータを入力することによって課題を抱えている児童生徒に対して学校全体でチームとして支援することができる仕組みづくりを構築した。システム開発した大阪公立大学山野則子研究室が提案した「YOSS（Yamano-Osaka-Screeninng-System）」を利用。
（利用料　506,000 円、活用支援委託料　200,200 円）
メリット
･養護教諭、SSW や SC など違った視点を入れる･簡単な対応方法を得る＝教師の力量アップ
･校内のどこでどう判断していくのか、個人でない判断ができ、ルール、判断の流れが明確になる。･地域資源（居場所や子ども食堂等）活用の正しい理解になる＝教師を救う</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">各学校 7 校へ出向き、システムの利用方法、スクリーニング会議、チーム会議の説明会を実施した。
各学校で入力をしてスクリーニング会議で、チーム会議の対象者を確認したとき、担任はあまり気にしていない児童生徒でもシステムではチーム会議の対象者になる、という結果が出て、個人の判断ではない気づかない結果が出て新たな視点で児童生徒へ対応することにつながった。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">スクリーニングシステムによりチーム会議につながった事案があることから、是非事業の継続を望む。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7">スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携により、更なるデータの充実を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">教育委員会活動事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">委員会費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">984</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>984</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">教育の基本方針の総合的施策の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">教育の基本方針の教育行政の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">教育委員会の活動状況や会議運営状況等</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">〈主な学校行事参加関係〉
○　小学校入学式・中学校入学式・・・教育委員分散しての参加
○　学校訪問（年間通して、小中学校７校の訪問）・・・教育委員分散しての参加
○　運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加
○　文化発表会・・・教育委員分散しての参加
○　小学校卒業式・中学校卒業式・・・教育委員分散しての参加
〈主な会議参加関係〉
○　みやき町教育委員会定例会（毎月開催）
○　三神地区教育委員会連絡協議会総会・研修会
○　佐賀県市町教育委員会連合会総会・研修会
○　九州地区市町村教育委員会連合会研修大会</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">教育委員会定例会を月１回開催している。各種委員の任命や準要保護児童生徒の認定などを協議した。
定例教育委員会の開催については、ホームページに開催日時及び会議録抜粋を掲載した。
令和６年度は三神地区教育委員会連絡協議会の事務局となったため（令和７年度までの２年間)、総会・研修会を実施した。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

事業名	特別支援教育支援員配置事業	所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
		費目	事務局費		

事業費（千円）	46,155	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							46,155

基本方針		
	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進
	主要施策	特別支援教育の一層の充実

事業の内容等

特別支援学級に在籍している児童生徒及びそれに準ずる児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行う。

事業の実績等

○特別支援学級入級者の状況（R6.5.1 現在）

小学校　33 学級：179 人　　中学校　11 学級：46 人　　合計 225 人　　（単位：人）

学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級	学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級
中原小	24	47	0	0	1	1	中原中	2	9	0	0	0	0
北茂安小	27	43	0	0	1	22	北茂安中	5	15	1	0	3	8
三根東小	8	10	0	0	1	0	三根中	4	7	0	0	0	0
三根西小	3	12	0	0	2	1	中学校計	11	31	1	0	3	8
小学校計	62	112	0	0	5	24	合計	73	143	1	0	8	32

○学校生活支援員（特別支援教育支援員）の配置状況

・中原小 9 人、北茂安小 8 人、三根東小 3 人、三根西小 3 人、北茂安中 2 人の計 25 人を配置した。

○学校生活支援員の報酬 34,163,366 円、期末手当 11,189,224 円、費用弁償（通勤手当分）803,000 円を支出した。

事業の成果等

自己評価

達成
おおむね達成
やや不十分
不十分

特別支援学級への入級者は年々増加しており、入級者は前年度と比較して 40 人増加した。支援員の各校への配置は学級数などを考慮し、昨年度と比較して、2 人増で配置した。

人員の確保が課題であったが、令和８年度から民間事業者への業務委託を予定。

評価委員

評価結果	意見・指摘事項
達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし

次年度以降の取組み

指摘事項を受けての改善点等

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">スクール・サポート・スタッフ事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">5,782</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>1,871</td><td></td><td></td><td>3,911</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">「生きる力」を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">教職員の働き方改革</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">教員の専門性を必要としない業務に従事させることにより、学校教育活動の一層の充実及び学校の働き方改革の推進を図ることを目的としている。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○令和３年度からの事業
スクール・サポート・スタッフの主な業務内容は、授業準備補助（学習プリント等の印刷、配布準備等）に従事
１日３.５時間勤務で従事
各小中学校に１名ずつ配置を行った。
○スクール・サポート・スタッフの報酬 5,557,266 円、費用弁償（通勤手当分）225,228 円を支出した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">各学校長から「印刷や学習プリントの準備、課題の丸付けなどしてもらい、大変助かっている」との高評価を得ており、前年度より時間外勤務時間が減少するなどの成果があった。
令和８年度から民間事業者への業務委託を予定しており、今後も教職員の負担軽減につなげていきたい。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">スクールカウンセラー事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">2,753</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>917</td><td></td><td></td><td>1,836</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">「生きる力」を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">豊かな心を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県の事業となる。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【相談内容】
小学校においては、児童では家庭環境、教職員でも家庭環境や発達障害等、保護者でも家庭環境や発達障害等に係る相談が多かった。中学校においても、家庭環境に係る相談が多く、新型コロナの影響もあった。
（小学校合計：534h：中小:147h、北小:147h、三東小:120h、三西小:120h）－町費－
（中学校合計：312h：中原中：92h、北中：140h、三根中：80h）－県の事業－
【相談件数】
小学校　合計 320 件（児童 177 件　教職員 42 件　保護者 99 件　他 2 件）－町費－
中学校　合計 218 件（生徒 173 件　教職員 23 件　保護者 21 件　他 1 件）－県の事業－
【その他取組み】
各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年１～３回行った。
○スクールカウンセラー3 名の報償費 2,670,000 円、費用弁償（通勤手当分）83,287 円を支出した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">学校における教育相談においては、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育などの問題の解決をサポートし、きめ細かな対応が出来るように努めている。また、カウンセリング以外にも、児童生徒に対して引き続き、ネットいじめの対処法などの授業も実施し、問題の未然防止を図っている。
児童の家庭環境においてスクールソーシャルワーカーと連携し児童の環境を円滑に整えていく方向へ実施できた。
教職員にとっても専門的な助言を受ける貴重な機会となっている。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">スクールソーシャルワーカー事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">477</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>477</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">「生きる力」を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">豊かな心を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○スクールソーシャルワーカー（SSW）事業は県の事業であり、今年度は下記のとおりの配置となった。報償費と費用弁償を支出している。
・派遣人数　１人　配当時間　５５０時間（５５０時間を超えた分が町の負担となる）

SSW　実績　５５０時間（県負担）
<table>
<tr><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr>
<tr><td>50h</td><td>58h</td><td>48h</td><td>71h</td><td>42h</td><td>73h</td><td>66h</td><td>55h</td><td>48h</td><td>39h</td><td>0h</td><td>0h</td></tr>
</table>
町負担　１４０時間　　3,000 円/時間　　○報償費 420,000 円、費用弁償 57,535 円
<table>
<tr><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr>
<tr><td>24h</td><td>65h</td><td>51h</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">不登校やいじめの他にも家庭内暴力やネグレクト等問題のある家庭で生活する児童生徒がおり、その問題も複雑化している。関係機関と連携して、福祉的な方法で対処していかなければならない事案が多くなっており、社会福祉等の専門的な知識や経験をもっている SSW の配置が不可欠である。
児童が診断を受けるときに病院まで随行するなど、きめ細やかな対応で、関係機関とつなぐ役割を果たしている。
児童の家庭環境においてスクールカウンセラーと連携し児童の環境を円滑に整えていく方向へ実施できた。
同時多発的な事案にも迅速に対応できるように、ＳＳＷの複数名の配置を県に要望していきたい。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">増員等により支援の時間数を増やして欲しい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7">県に対し派遣人数及び配当時間の増を要望していく。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">学力向上支援体制確立対策事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">16,703</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>16,703</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">「生きる力」を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">確かな学力を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別支援を行う。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">〇配置状況
・町の直接任用（各中学校に教諭補助を２人ずつ、事務局内に不登校対策支援員を１人、計７人の配置）
・中原中２人、北茂安中２人、三根中２人
〇実績
・担当教科などでＴＴを実施し、Ｔ２の役割を担うことで学習支援を行った。
・支援を要する生徒に対し、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行った。
・不登校児童生徒対策として、教育委員会に「フリースクール」を設置し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。
〇教諭補助６名の報酬 10,716,444 円、期末手当 2,995,629 円、費用弁償（通勤手当分）247,166 円を支出した。
〇不登校対策支援員１名の報酬 2,000,550 円、期末手当 698,910 円、費用弁償（通勤手当分）45,000 円を支出した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">教諭補助を各校２人配置し、学習支援を行うことで、個別の学習課題に応じた支援・対応ができている。また、教員の業務のサポートを行うことで、教職員の負担軽減につながっている。
フリースクールは、不登校の児童生徒の居場所になっており、フリースクールに来る児童生徒数は増加傾向にあるが、学校に行くことができるようになっている児童生徒もおり、効果は表れている。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">ＩＣＴ支援体制確立対策事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">19,198</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>19,198</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">「生きる力」を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">確かな学力を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">授業における ICT 活用を円滑に進める環境づくりとして、教職員の ICT 活用を支援する。
ICT 支援員を配置することによりサポート体制の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○配置
・5 人（中小に 1 人配置・北小に 1 人配置・三根西小と三根中に 1 人配置・三根東小と中中に 1 人配置、北中に 1 人配置）
○実績
・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。
・タブレット端末の管理、児童生徒アカウントの管理を行った。
・授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなどの指導を行った。
・デジタル教材の作成等について支援を行った。
○ICT 支援員 5 名の報償費 11,138,667 円、期末手当 3,827,340 円、改定差額支給 828,484 円、費用弁償（通勤手当分）257,960 円を支出した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">各学校への ICT 支援員の配置により、デジタル教科書などでの授業やリモート会議の際の機器設定など、教職員の ICT 活用を支援することができた。学習者用タブレットの設定などの支援も行っていて、各学校から、ICT を活用した授業展開に不可欠な存在だと意見が出ており、教職員のサポートにつながっている。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">要保護・準要保護児童生徒
就学援助事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>費目</td><td colspan="3">小中学校費</td></tr>
<tr><td>事業費
（千円）</td><td rowspan="2">13,897</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td>13,880</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">教育活動を支える環境の整備</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">学校・家庭・地域が連携した教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">学校教育法第１９条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【要保護児童生徒】
・小学校　４人　　中学校　０人　　計　４人
・修学旅行費（実費）のみの支給　　支給総額　　小学校　34,371 円　　中学校　0 円
【準要保護児童生徒】
・小学校　９７人　中学校　５０人　　計　１４７人
・認定者数は、ここ数年は減少傾向であったが、令和６年度で増加した。
<table>
<tr><td>R５年度</td><td>R４年度</td><td>R３年度</td><td>R２年度</td><td>R 元年度</td><td>H３０年度</td><td>H２９年度</td></tr>
<tr><td>１２４人</td><td>１２４人</td><td>１２１人</td><td>１４４人</td><td>１３９人</td><td>１５７人</td><td>１６５人</td></tr>
<tr><td>H２８年度</td><td>H２７年度</td><td>H２６年度</td><td>H２５年度</td><td>H２４年度</td><td>H２３年度</td><td>H２２年度</td></tr>
<tr><td>１５７人</td><td>１６１人</td><td>１５５人</td><td>１５９人</td><td>１５９人</td><td>１６１人</td><td>１５０人</td></tr>
</table>
・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。
・支給総額　　小学校　6,976,357 円　　中学校　5,399,131 円
・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。
新入学対象者２５人　（小学校　9 人　513,540 円　　中学校　16 人　1,008,000 円）
・毎年、２月の町広報で申請のお知らせをしている。新１年生については、就学時健康診断時に、チラシを配付している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割）</td></tr>
<tr><td>事業の
成果等</td><td>自己評価
達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">準要保護児童生徒の認定者数については、令和６年度で増加、特に小学校が増加している。
ホームページや広報などで制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上につなげることができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">特別支援教育就学奨励費交付事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">小中学校費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">7620</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>3809</td><td></td><td></td><td></td><td>3811</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減措置</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">学校・家庭・地域が連携した教育の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、みやき町立小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担の軽減措置として特別支援教育就学奨励費を交付し、義務教育の円滑な実施に資する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【特別支援教育就学奨励費交付対象児童生徒】
・小学校
中原小　63 人　　北茂安小　61 人　　三根東小　17 人　　三根西小　12 人　　小学校計 153 人
・中学校
中原中　8 人　　北茂安中　17 人　　三根中　10 人　　中学校計 35 人

・認定者数は、毎年増加傾向にある。
<table>
<tr><td>R５年度</td><td>R４年度</td><td>R３年度</td><td>R２年度</td><td>R 元年度</td><td>H３０年度</td><td>H２９年度</td></tr>
<tr><td>１４５人</td><td>１２２人</td><td>１０６人</td><td>９２人</td><td>８１人</td><td>６５人</td><td>４９人</td></tr>
<tr><td>H２８年度</td><td>H２７年度</td><td>H２６年度</td><td>H２５年度</td><td>H２４年度</td><td>H２３年度</td><td>H２２年度</td></tr>
<tr><td>４９人</td><td>３６人</td><td>３２人</td><td>３０人</td><td>２４人</td><td>２１人</td><td>１８人</td></tr>
</table>
・学用品購入費、新入学児童生徒学用品費は定額支給。通学に要する交通費は実費を支給。学校給食費、修学旅行費、校外活動費は実費負担額の 1/2 を支給するが、上限がある。
・令和６年度支給総額　　小学校　5,555,586 円　　中学校　2,063,929 円
・毎年６月、特別支援学級の児童生徒（要保護、準要保護、通級を除く）の保護者に申請書を提出してもらっている。申請書を提出しない保護者には辞退届を提出してもらう。</td></tr>
<tr><td>事業の
成果等</td><td>自己評価
達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特別支援教育就学奨励費交付の認定者数については、毎年増加している。特に近年は、増加の傾向が顕著である。
ホームページなどで制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上につなげることができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

事業名	育英資金貸付基金事業	所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
		費目	事務局費		

事業費（千円）	7，900	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						7，900	

基本方針		
	重点目標	教育活動を支える環境の整備
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進

事業の内容等

育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。

事業の実績等

○　大学生等　月額４０，０００円以内　／　高校生等　月額２０，０００円以内　の貸付

○　貸付期間は当該学年から正規修業時まで　利率は無利子

○　基金及び貸付者等の状況　（基金額：38,000,000 円）　（単位：千円，人）

	積立金	返済額	申請者		採用者		貸付者		貸付額	残額
			高校	大学	高校	大学	高校	大学		
平成３０年度	5,000	1,433	1	1	1	1	3	9	4,160	4,153
令和元年度	3,000	2,066	0	4	0	4	3	12	6,040	3,179
令和２年度	3,000	1,545	1	4	1	4	3	10	5,160	2,564
令和３年度	5,000	1,779	1	5	1	5	2	13	6,720	2,623
令和４年度	5,000	2,550	0	2	0	2	2	14	6,600	3,573
令和５年度	2,000	4,104	7	4	7	2	7	12	6,840	2,837
令和６年度	0	5,994	0	6	0	6	5	14	7,900	930

○　平成２０年度より貸付を開始。みやき町育英資金運用委員会（委員５人）にて、採用者の決定を行っている。令和６年度は５月７日に開催し、６名の応募があり全員を採用とした。

○　返済については、平成２４年度より３人、２５年度より１人、２６年度より３人、２７年度より３人、２８年度より３人、３０年度より３人、元年度より２人、２年度より６人、３年度より２人、４年度より３人、５年度より７人、６年度より７人の償還が始まった。６年以内（２７年度貸付者からは８年以内）で月賦又は年賦で返済する。１８人は返済完了している。

事業の成果等

自己評価

[達成]
おおむね達成
やや不十分
不十分

令和６年度申請については、大学生６人の申請であった。選考においては育英資金運用委員会において、勉学意欲、学資の支弁が困難であるか、世帯の状況、その他総合的判断に基づき全員の採用を決定した。申請者においては、日本学生支援機構奨学金や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。募集については、町広報やホームページにおいて周知している。基金額状況としては返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っている状況である。

評価委員

評価結果	意見・指摘事項
[達成] おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし

次年度以降の取組み

指摘事項を受けての改善点等

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">医療的ケア実施業務委託事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td>費目</td><td colspan="3">小中学校費</td></tr>
<tr><td>事業費
（千円）</td><td colspan="2">426</td><td>財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>142</td><td></td><td></td><td></td><td>284</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">医療的ケア児に対して教育を行う体制の拡充</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">看護師の学校派遣</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律第７条の規定に基づき、医療的ケア児に対して教育を行う体制の拡充を図る。みやき町立小学校及び中学校に在籍する医療的ケア児が保護者の付き添いがなくても適切な医療的ケアその他の支援を受けられる環境その他の必要な措置を講ずるため、看護師を学校に派遣する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【対象児童生徒】
・小学校　１人　　中学校　０人　　計　１人

【学校派遣実施回数】
<table>
<tr><td>１１月</td><td>１２月</td><td>１月</td><td>２月</td><td>３月</td><td>計</td></tr>
<tr><td>９回</td><td>１６回</td><td>１６回</td><td>１６回</td><td>１４回</td><td>７１回</td></tr>
</table>
・単価 6,000 円×71 回＝426,000</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">対象児童の、給食後の医療的ケアや体調不良時の対応について、委託先であるよつば訪問ステーションと学校、保護者が連携を取りながら対応できた。医療的ケア児が保護者の付き添いがなくても適切な医療的ケアその他の支援を受けられる環境が整備できた。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td>次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">学校給食費補助事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">99,574</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>99,574</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">みやき町内に住所を有する小・中学生の児童及び生徒並びに保護者を対象に学校給食費にかかる保護者負担分を全額補助する。</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">同一世帯で１８歳に達する日以降の最初の４月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を１人目と２人目は半額を、３人目以降は全額を補助している。平成３０年度から当面の間、ふるさと寄附金利活用事業として１人目と２人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。令和６年度より一般会計からの負担で〇人目問わず全額補助を行っている。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">【学校別対象者数及び金額】
【一般会計】
中原小学校　461 人　21,162,482 円
北茂安小学校　616 人　28,905,316 円
三根東小学校　148 人　6,778,384 円
三根西小学校　184 人　8,775,160 円
中原中学校　187 人　10,815,761 円
北茂安中学校　245 人　13,805,609 円
三根中学校　152 人　8,577,422 円
町立外小学校　7 人　164,304 円
町立外中学校　42 人　588,592 円
合計　2,042 人　99,573,030 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">補助対象児童生徒 2,042 人に学校給食費を全額補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。
※年額：
小学１年生（50,600 円）
小学２年生～6 年生（51,600 円）
中学生（62,000 円）</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">学校給食費全額補助の継続を強く望む。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7">国の小学校給食無償化の動向を注視しつつ、ふるさと寄附金基金の優先充当等の検討により事業の継続を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">学校給食センター事業</td><td>所管課</td><td>学校教育課</td><td>担当</td><td>学校給食担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">給食センター費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">77,286</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>77,286</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">小学校２校・中学校２校、一食あたり小学生２６５円・中学生３１８円で年間１９５回の給食を提供し、単独校３校に炊飯を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○　食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。（小学生　１人　中学生　３人）
○　食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。（８月２０日）
○　安心・安全な給食提供のため、地元食材の供給を推進した。
○　下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。
○　施設・設備の老朽化に伴い、雨漏り修繕、排水処理ばっ気ブロワ取替、調理室等床改修及び照明器具ＬＥＤ取替工事を行い、検食用冷凍庫１台を更新のため購入した。（9,442 千円）
○　一日あたりの提供食数
【学校給食センター】
学校名／提供数
中原中学校　２２１食
三根東小学校　１７８食
三根西小学校　２１５食
三根中学校　１８６食
給食センター　１８食
計　８１８食
【自校式】炊飯のみ
学校名／提供数
中原小学校　５３７食
北茂安小学校　６９２食
北茂安中学校　２９０食
計　１，５１９食</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">学校給食衛生管理基準を守り、施設と調理員等の衛生管理を徹底した。施設設備・厨房機器の定期的な点検を実施し、必要な補修、設備備品の入れ替えを行い、安全安心な学校給食の実施・運営ができた。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">青少年健全育成事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>社会教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">社会教育総務費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">4,523</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4,523</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">・青少年健全育成指導員を各地区１名の計５７名に委嘱し、校区ごとに年６回指導員会議を開催し、各地区で青少年を対象に実施される体験活動の状況や事件・事故などの事案発生に対する情報共有、注意喚起や懸案事項についての意見交換等を行った。会議には交番・駐在所や主任児童委員、少年補導員、小中学校、PTA等の参加を得て、青少年健全育成のための連携体制の強化や共通認識を図ることができた。
・青少年育成町民会議と連携し、青少年を対象に地区で取り組む体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施した。（上限 15,000 円　４０地区助成）
・青少年健全育成に関する啓発事業として、小中学生が日頃感じていることや将来の夢等を文集として発行し、各世帯に配布することで住民に対する広報、啓発を図った。
・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。また、地区での青少年サポート隊の活動に対して補助金を交付した。（上限 20,000 円　４８地区助成）
・青少年サポート隊地区隊長を対象に隊長会議を開催し、情報共有・懸案事項についての意見交換等を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">昨年度よりも多くの地区で子ども達の体験活動やふれあい活動が実施され、世代間交流の推進及び地域の子どもは地域で育てる意識の高揚を図ることができた。
また、サポート隊の活動補助金を交付することで活動の幅が広がるとともに、継続的な活動により登下校時の交通事故や子どもたちが巻き込まれる犯罪事案の未然防止につなげることができた。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">まちづくりいきいき女性クラブ事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>社会教育担当</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td>費目</td><td colspan="3">社会教育総務費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費（千円）</td><td rowspan="2">3,081</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3,081</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">地域住民の交流及び親睦と連携の強化</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">女性活動・町民協働支援の推進</td></tr>
<tr><td>事業の内容等</td><td colspan="7">地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</td></tr>
<tr><td>事業の実績等</td><td colspan="7">○令和６年度地区推進員登録状況
43 地区　47 名登録（400 世帯を超える行政区は、1 名増員可）
・中原校区 13 地区 16 名　・北茂安校区 15 地区 16 名　・三根校区 15 地区 15 名

○活動内容
・交流事業　茶話会　ミニバレーボール　ひなまつり　もちつき会　等
・各種教室　そば打ち　ゴキブリ団子作り　手芸　調味料作り　寄せ植え
しめ縄作り　等
・奉仕活動　地区内の清掃　花壇の花植え　お地蔵様の前掛け作り　等
・研　　修　バスハイク　出前講座　講習会　等
・地区行事サポート　ほんげんぎょう　資源回収　敬老会　等</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">地区推進員を中心に交流活動や研修会、奉仕活動等が行われた。地区によっては地区住民の親睦を深めるためのバスハイクを実施したところもあった。
行事等の円滑な実施により、本事業の目的である地区住民の親睦と連携の強化及び女性の視点を活かした活動や町民協働の推進が図られたことで事業目標が達成できたと考える。
町全域 57 地区の内、設置地区数は昨年度より 2 地区増の 43 地区である。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">評価委員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度以降の取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

事業名	放課後子ども教室事業	所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
		費目	社会教育総務費			

事業費（千円）	450	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				206			244

基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進

事業の内容等

校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。

事業の実績等

○４月～翌年２月にかけて、全１５回、土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを各校区において実施した。また、夏休み期間中も、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子どもたちが参加した。

○教室内容：スポーツ、手芸、英語、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等

放課後子ども教室名	土曜子ども教室開催回数	延べ参加者	夏休み子ども教室開催回数	延べ参加者
中原風っ子元気スクール	5 回	196 名	4 回	75 名
茂安っ子いきいきスクール	5 回	156 名	4 回	172 名
三根わくわくスクール	5 回	61 名	4 回	29 名
計	15 回	413 名	12 回	276 名

事業の成果等

自己評価

達成
[おおむね達成]
やや不十分
不十分

子ども達に安全で健やかな居場所を提供することができた。活動の中では高学年と低学年の児童の交流や校区を跨いだ交流も図られ、日頃学校では体験できない様々な活動を通じて子ども達の健やかな育成の一助とすることができた。

また、地域の方に指導者として参加していただくことで地域の大人との交流も深まり、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進することができた。

評価委員

評価結果	意見・指摘事項
[達成] おおむね達成 やや不十分 不十分	一部教室の参加者数が少ないものの、充実した事業内容は達成と評価し得る。

次年度以降の取組み

指摘事項を受けての改善点等

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">生涯学習事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>社会教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">公民館費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">741</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>741</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">生涯学習の総合的な推進と高齢者の生きがいづくり</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">生涯学習の環境づくり</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進並びに高齢者の生きがいづくりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">各会場における公民館事業の実施状況
<table>
<tr><th>会場</th><th>事業の種類</th><th>回数</th><th>延べ参加者数　(人)</th></tr>
<tr><td>中原
会場</td><td>みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座</td><td>29 回</td><td>395</td></tr>
<tr><td>北茂安
会場</td><td>みやき塾（北茂安編）、パソコン教室（入門・ワード初級・ワード中級）、スマートフォン体験教室、折り紙教室、パッチワーク教室、ゆるヨガ教室、生きがい講座（北茂安分）</td><td>26 回</td><td>389</td></tr>
<tr><td>三根
会場</td><td>みやき塾（三根編）、生きがい講座（三根分）</td><td>5 回</td><td>83</td></tr>
<tr><td>計</td><td></td><td>60 回</td><td>867</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>事業の
成果等</td><td>自己評価

達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">各種講座･教室を開催し、生涯学習の情報提供、環境づくりに努めた。参加者の大半は高齢者であり、そのニーズに対応する講座を多数実施することで、高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援することができた。また、講座ごとにアンケートを実施し、参加者の満足度と学習ニーズの把握に努めた。
例年開催している「みやき塾」は９回のうち３回は民間保険会社と連携して実施し、「予測ができない地震に備えましょう！」「相続のはなし」「老化を防いで身体の中から健康に」をテーマに保険会社に蓄積されたデータや統計を活用して講座を展開し、実施後のアンケートでも満足度の高い結果となった。他６回についてはコンサートや人権講話を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">図書館事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td colspan="2">図書館担当</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td>費目</td><td colspan="4">図書館費</td></tr>
<tr><td>事業費
（千円）</td><td colspan="2">20,301</td><td>財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,000</td><td>19,301</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="7">社会教育の振興、歴史や文化の情報発信</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="7">生涯学習施設としての機能を果たす図書館づくり</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="8">すべての町民が、本を通じて楽しみ、笑顔になれる図書館をつくる。赤ちゃんから高齢者まで、誰もが安心して利用でき、幅広い年齢層の知的好奇心や学びを支える場を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="8">○　蔵書構成
<table>
<tr><td></td><td>一般書</td><td>児童書</td><td>ＡＶ資料</td><td>雑誌</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>令和６年度末</td><td>６２，４０５</td><td>３２，８４１</td><td>１，９５０</td><td>３，６３９</td><td>１００，８３５</td></tr>
<tr><td>内６年度受入分</td><td>（２，３１６）</td><td>（１，４４０）</td><td>（３８）</td><td>（４６１）</td><td>（４，２５５）</td></tr>
</table>
○　貸出実績
<table>
<tr><td></td><td>開館日数</td><td>館外貸出人員</td><td>館外貸出冊数</td><td>１日平均貸出冊数</td></tr>
<tr><td>町立図書館</td><td>２７６日</td><td>２１，６５８人</td><td>１２５，２２６点</td><td>４５３．７点</td></tr>
<tr><td>こすもす館</td><td>２１９日</td><td>２，５５６人</td><td>９，８５７点</td><td>４５．０点</td></tr>
<tr><td>改善センター</td><td>１９４日</td><td>６９６人</td><td>２，２５７点</td><td>１１．６点</td></tr>
</table>
○　リクエスト、レファレンスサービス
・ リクエスト　予約件数　３，９３２件　※
・ レファレンス　　６８６件　（読書相談、調べものに対応）
※貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び県内図書館より借受で対応
○　赤ちゃんのためのちいさなおはなし会 IPPO（こすもす館）、おはなし会 UP（改善センター）、陽だまりおはなし会（町立図書館）と年齢の幅を広げ開催するおはなし会が毎回賑わいをみせている。
IPPO　のべ 166 名、　UP　のべ 145 名　　陽だまりおはなし会　のべ 466 名
○　読書バリアフリー図書（大活字本・少しだけ文字が大きい本）の貸出冊数が大幅に増加した。
令和 5 年度 374 冊、令和 6 年度 1,078 冊
ジャンルを問わず積極的に蔵書を増やしていること、特集コーナーを設置し、月ごとにテーマに基づいた展示を行っていたことで利用者に興味を持ってもらえたことが貸出増に繋がった。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="7" rowspan="2">「読みたい本がそこにある」という理念のもと、幅広い主題の本を収集し、読書環境の整備に力を注いだ。特に、図書館に通うことが難しい中高校生対しては、学校図書室への定期的な貸出を行い、読書の機会を確保している。実際に、児童・生徒が興味を示している様子が学校司書から報告されており、こうした活動の効果がうかがえる。また、町内の事業所・団体に対しても積極的に利用を呼びかけ、世代を問わず新しい本との出会いの場を提案している。さらに、館内では月替わりの特集コーナーを設け、多様な切り口から情報を発信し、利用者の関心を引きつけることができた。こうした地道な取り組みの積み重ねが実を結び、過去最高の貸出冊数を更新する成果へと繋がった。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="7">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="7">貸出冊数が非常に多く、充実がみられる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">年度以降
の取組み</td><td colspan="8">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="8"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">文化財保護事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>社会教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">文化財保護費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">27,903</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>4,062</td><td>1,626</td><td></td><td>11,034</td><td>11,181</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">・開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業
・確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業
・県・町指定史跡の維持管理事業
・文化財の啓発活動事業など</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○令和 6 年度文化財保護法第 93・94 条第 1 項による開発届出処理件数：105 件
確認調査実績件数：46 件(46 件中、4 件で遺跡を確認し、1 件で本調査を実施した。その他は設計変更等により遺跡が保存された。令和 5 年度に実施した確認調査の整理作業及び報告書作成を実施した。
○町指定史跡である中津隈前方後円墳について、地中レーダー探査を行い地中埋蔵物の状況を調査した。
○本調査実施（町単・受託事業）
原古賀六本黒木遺跡 5 区、大園遺跡 6 区、西尾城跡 1 区の本発掘調査を実施した。
大園遺跡 6 区について整理作業、二の幡遺跡 2～4 区、大塚遺跡 3 区、拾徳遺跡 5 区について整理作業及び報告書を作成した。
○県指定史跡―4 ヶ所、町指定史跡―2 ヶ所の維持管理業務を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td colspan="2">自己評価</td><td colspan="5" rowspan="2">○　開発に伴う確認調査を実施することにより、埋蔵文化財保護と開発との調整を図ることができた。
○　本調査においてみやき町の歴史を知るうえで重要な成果を上げることができた。
○　史跡維持管理事業では、除草作業を行い、景観美化に努めるとともに、見学者の利便性を高めることができた。
○　啓発活動の歴史講座については、郷土の文化財や佐賀県の歴史について理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td colspan="2">評価結果</td><td colspan="5">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td colspan="2">達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="5">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">社会教育施設整備事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>社会教育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">総務管理費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">15,618</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>15,600</td><td></td><td>18</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">教育活動を支える環境の整備</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">社会教育施設・設備の充実</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">生涯学習の拠点となる社会教育施設・設備の整備・改修工事等を行い、施設利用における利便性の向上と施設の長寿命化を図る。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">〇令和６年度農村環境改善センタートイレ設置工事
事業費　15,618 千円
事業内容　　指定避難所に指定されている改善センターの既存トイレをバリアフリー化するとともに、多目的トイレを新たに設置し、避難所対応に備え環境整備を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6">施設利用に影響が出ないよう調整し、計画どおりに実施できた。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">令和６年度 SAGA2024
国民スポーツ大会事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>国スポ・社会体育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">保健体育費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">94,364</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>28,723</td><td></td><td>1,000</td><td>64,641</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">たくましい心身の育成を目指す町民総スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">競技スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">SAGA2024 国民スポーツ大会の運営、開催準備等を行う会議の開催、関係機関及び競技団体との連絡調整等。また、後催県に対する事業概要説明会の開催。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○SAGA2024 みやき町実行委員会関係会議
第４回総会　令和６年４月 30 日
職員説明会　令和６年８月 20 日～22 日、８月 27 日～28 日
ボランティア説明会　令和６年９月２日～３日、９月５日
バレーボール競技会事業概要説明会　令和６年 12 月 19 日～20 日
ソフトボール競技会事業概要説明会　令和６年 12 月 23 日～24 日
第５回総会（解散総会）　令和７年２月 19 日
○啓発活動
県民・町民参加促進のため、各種イベントにおいて PR 活動を行った。令和６年４月には SAGA アリーナで開催されたサガテレビ春フェスにおいて周知啓発を行い、令和６年８月にはメディカルコミュニティセンターで開催された MIYAKI マルシェで国スポブースを出展し、缶バッジ作成体験やオリジナルグッズの配布を実施した。
○みやき町開催競技
バレーボール競技会（少年男子）　令和６年 10 月６日～８日（来場者延べ 4,451 人）
ソフトボール競技会（少年男子）　令和６年 10 月 12 日～14 日（来場者延べ 1,712 人）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">本町では２競技を実施し、全国から多数の観覧者を迎えた。大会は大きなトラブルもなく進行し、各都道府県の選手団による熱戦が繰り広げられ、記憶に残るイベントとなった。
また、町内の児童生徒を対象に、トップアスリートのプレーを間近で観戦し応援する「学校観戦」を実施し、スポーツの普及促進につなげることができた。
さらに、県内外からの来場者には「みやき町ランチマップ」を配布し、試合観戦だけでなく町内での昼食を楽しんでいただけるよう取り組み、スポーツだけでなく、本町の魅力を広く伝えることができた。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">長期間の準備を経て円滑な運営が図られ大変素晴らしい大会となった。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">各種スポーツ大会等開催事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>国スポ・社会体育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">保健体育費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">76</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>76</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">たくましい心身の育成をめざす　町民総スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">○6 月　　分館対抗女子ミニバレーボール町決勝大会
17 分館 128 名が参加し、三根体育館で開催した。
優勝：原古賀・高柳　2 位：中津隈西・中津隈東
○10 月　町民体育大会（各校区）
国民スポーツ大会開催のため中止。
○11 月　クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦
A クラスは 5 チームが参加し、中原体育館で 5 日間開催。優勝：QT 東尾。
B クラスは 4 チームが参加し、中原体育館で 3 日間開催。優勝：ブレイブ。
○11 月　分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会
14 分館 129 名が参加し、三根体育館で開催。
優勝：白壁　2 位：石貝
○3 月　　ニュースポーツ教室
こすもす館で開催し、約 20 人が参加した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">新型コロナウイルス感染拡大防止による開催自粛がここ数年続いていたが、ようやく計画どおりに開催することができた。ただし、町民体育大会については、令和 6 年度に国民スポーツ大会が佐賀で開催されるため中止とした。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">コロナ禍以降中止となっている町民体育大会について検討を求める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7">令和 7 年度に代替となるスポーツイベントの開催を予定しており、以降も継続を検討する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">社会体育施設整備事業</td><td>所管課</td><td>社会教育課</td><td>担当</td><td>国スポ・社会体育担当</td></tr>
<tr><td>費目</td><td colspan="3">保健体育費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">2,937</td><td rowspan="2">財源</td><td>国庫</td><td>県費</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2,937</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基本
方針</td><td>重点目標</td><td colspan="6">たくましい心身の育成を目指す町民総スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td colspan="6">各公共運動施設の維持管理</td></tr>
<tr><td>事業の
内容等</td><td colspan="7">農村環境改善センター出入口門扉の改修工事、中原公園井戸水圧力タンク等交換工事を行い、体育施設の機能向上・維持を図った。</td></tr>
<tr><td>事業の
実績等</td><td colspan="7">〇三根運動場整備工事　　事業費　1,650 千円
農村環境改善センターの出入口門扉の改修工事を行った。

〇中原公園井戸水圧力タンク等交換工事　　事業費　1,287 千円
中原公園敷地内のトイレ及び手洗い場等に水を供給する井戸水圧力タンクに不具合が発生し、タンク等の交換工事を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業の
成果等</td><td>自己評価</td><td colspan="6" rowspan="2">計画どおりに完了した。</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評　価
委　員</td><td>評価結果</td><td colspan="6">意　見　・　指　摘　事　項</td></tr>
<tr><td>達成
おおむね達成
やや不十分
不十分</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">次年度
以降の
取組み</td><td colspan="7">指　摘　事　項　を　受　け　て　の　改　善　点　等</td></tr>
<tr><td colspan="7"></td></tr>
</table>